

新北海道スタイルとは

新型コロナウイルスとの闘いが長期化しています。
私たちは、国が示した「新しい生活様式」の北海道内での実践に向けて、
ライフスタイル、ビジネススタイルを変革しなければなりません。
北海道に関わる全ての方々の知恵を集め、取組を可視化し、
道民と事業者が連携しながら、北海道全体で感染リスクを低減させる、
そして、事業継続やビジネスチャンス拡大につなげていく。
それが「**新北海道スタイル**」です。
道民の皆様が心を一つに、コロナに強い
新たなステージの北海道を目指しましょう。

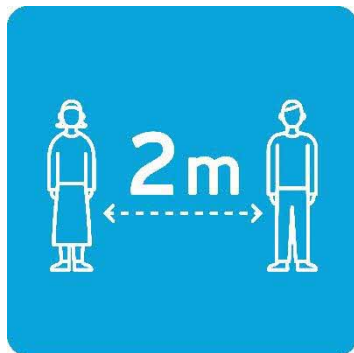
北海道知事 鈴木 直道



北海道

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします

道民の皆さまへ「新しい生活様式」の実践をお願いします



いまは、
きよりをとって



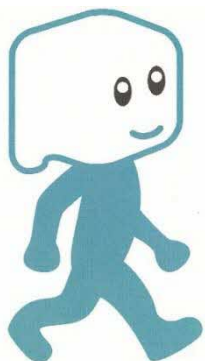
手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



マスコットキャラクター
「すたいるさん」(案)



3つの「密」を
さけよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使おう

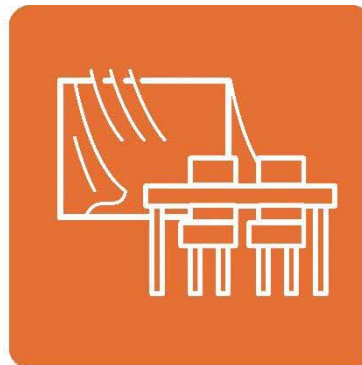
事業者の皆さまへ「7つのポイント」への取組をお願いします



マスク着用・
手洗いを徹底します



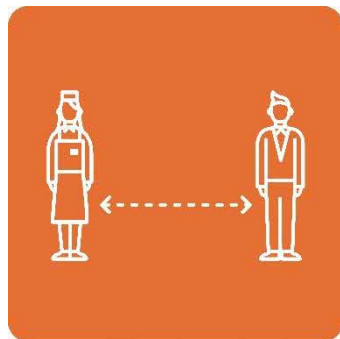
健康管理を
徹底します



こまめに換気します



消毒・洗浄します



一定の距離を
とっています



お客さまへ咳エチケット・
手洗いをお願いします



取組を
お知らせします



目指す姿

道民の
ライフスタイル

チェンジ

・3つの基本エチケット
etc

安心して利用

連携

安心して誘客

事業者の
ビジネススタイル

チェンジ

・ソーシャルディスタンス
etc

「新北海道スタイル」安心宣言

私たち事業者は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
「7つの習慣化」
に取り組めます！

1. スタッフのマスク着用や小まめな手洗いに取り組みます。
2. スタッフの健康管理を徹底します。
3. 施設内の定期的な換気を行います。
4. 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。
5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・一定の距離(2m程度)を確保するソーシャルディスタンス。
 - ・間仕切りなどの活用。
 - ・人数制限や空席の確保。
 - ・時差出勤、テレワーク など
6. お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。
7. 店内掲示やホームページなどを活用し、お店の取組をお客様に積極的にお知らせします。(感染症対策の可視化(見える化))

ペットショップQ.O

感染リスクの低減

道民と事業者
の連携モデル

取組の可視化

工夫が工夫を呼ぶ

新しい需要を取り込む

ビジネスチャンス拡大

道民、道内事業者が連携し「新北海道スタイル」を構築

現状・課題 当面、新型コロナウイルスがゼロになることはなく、また、長期間にわたる休業要請等を継続していくことは限界。

フェーズ1 感染爆発の脅威が去るまでの当面の間、道民や事業者は知恵を出し合って行動スタイルを変革し、感染リスクを可能な限り低減させて、社会経済活動を継続していくことが必要。

フェーズ2 フェーズ1の実効性を高めるため、「新北海道スタイル」実践企業の利活用促進により道内需要を受け止めるとともに、コロナに強い安心・安全な北海道を積極的に発信し、ウィズコロナで北海道が選ばれる環境を整備。

フェーズ3 アフターコロナを見据え、今後も続いていく新しい行動スタイルや社会システムをビジネスや地方創生のチャンスと捉え、フェーズ1、2の取組と並行して早期から検討に着手することで本道の新たな成長産業化を目指す。

フェーズ	現在・直近	短期	中期
フェーズ1	道民と事業者の連携による感染拡大防止と社会経済活動の両立 ✓ 道民や事業者の行動変容を促す支援 ✓ オール北海道で推進する体制の構築 ✓ 道庁自らが行動変容を実践		
フェーズ2	道内需要の受け止めと「新北海道スタイル」ブランドの道外・海外への発信 ✓ 道民による実践企業等の利活用促進（道内需要の受け止め） ✓ 道外・海外に向けて、安心・安全な北海道ブランドを積極的に発信		
フェーズ3	生活・ビジネススタイルや社会システムの変革に伴う新たなビジネスチャンスの獲得 ✓ 新たなスタイルやシステムに関連するビジネス展開の支援 ✓ 新たなスタイルやシステムを地方創生につなげる支援		

目的

産学官が連携して「新北海道スタイル」の実践や定着に向けた取組を行い、**オール北海道で、新型コロナウイルスの感染リスク低減と事業継続やビジネスチャンス拡大**につながる取組を支援

構成

【会長】 鈴木知事

【幹事】 北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、北海道経済同友会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、(公社)北海道観光振興機構、北海道商店街振興組合連合会、(一社)北海道建設業協会、北海道農業協同組合中央会、北海道森林組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、日本労働組合総連合会北海道連合会、(一社)北海道消費者協会、北海道市長会、北海道町村会 (※15団体)

【会員】 「新北海道スタイル」の推進に連携して取り組もうとする事業者、団体、行政機関、個人等

具体の取組

① 会員から「新北海道スタイル」の取組事例を広く集めて、会員間で共有

- ➡ 施設の規模や業態上、実践できないと考えていた会員の参考に（メルマガ、事例集等）
- ➡ 共有された事例をヒントに、会員が工夫を加えて取組の磨き上げ
- ➡ 事例の共有は自社のPRにつながるメリット

② 「新北海道スタイル」の実践にあたっての悩みの共有、相談助言の場づくり

- ➡ 困っている会員を、会員同士で支える仕組みづくり（質問箱、目安箱）
- ➡ 道民みんなで考えて、取り組んで行く「新北海道スタイル」の構築

「北海道コロナ通知システム」は、施設を利用した方やイベントに参加した方から感染者が確認された場合、同日に同一施設を利用した方に対して、北海道からEメールでお知らせするものです。

【登録の流れ】

施設・イベント主催者



①QRコードの取得

②QRコードの掲示

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

利用者



③QRコード読み取り
(施設訪問ごと)
(イベント参加ごと)

④メールアドレス登録

✓ アプリ不要、ガラケーも対応可

✓ 同日に同一施設等を利用したかどうかの把握のため、濃厚接触があったかどうかは不明

厚生労働省「新型コロナウイルス 接触確認アプリ（COCOA）」

- Bluetoothを有効としているスマートフォンの携行者同士
- 概ね1メートル以内で15分以上接触した場合
 - ➔ ①スマートフォンに暗号化して記録
- 新型コロナウイルスの陽性が判明した場合、自らアプリに登録
 - ➔ ②感染者と濃厚接触の可能性のある方にアプリで通知

- ✓ アプリ必要、ガラケーは対応不可
- ✓ Bluetoothを常時有効とするため、電池を消費
- ✓ 感染者と濃厚接触した日時や場所は不明

それぞれ特徴があることから
併用することで
感染拡大防止の効果が高まる

現状・課題 当面、新型コロナウイルスがゼロになることはなく、また、長期間にわたる休業要請等を継続していくことは限界。

フェーズ1 感染爆発の脅威が去るまでの当面の間、道民や事業者は知恵を出し合って行動スタイルを変革し、感染リスクを可能な限り低減させて、社会経済活動を継続していくことが必要。

フェーズ2 フェーズ1の実効性を高めるため、「新北海道スタイル」実践企業の利活用促進により道内需要を受け止めるとともに、コロナに強い安心・安全な北海道を積極的に発信し、ウィズコロナで北海道が選ばれる環境を整備。

フェーズ3 アフターコロナを見据え、今後も続いていく新しい行動スタイルや社会システムをビジネスや地方創生のチャンスと捉え、フェーズ1、2の取組と並行して早期から検討に着手することで本道の新たな成長産業化を目指す。

フェーズ	現在・直近	短期	中期
フェーズ1	道民と事業者の連携による感染拡大防止と社会経済活動の両立 ✓ 道民や事業者の行動変容を促す支援 ✓ オール北海道で推進する体制の構築 ✓ 道庁自らが行動変容を実践		
フェーズ2	道内需要の受け止めと「新北海道スタイル」ブランドの道外・海外への発信 ✓ 道民による実践企業等の利活用促進（道内需要の受け止め） ✓ 道外・海外に向けて、安心・安全な北海道ブランドを積極的に発信		
フェーズ3	生活・ビジネススタイルや社会システムの変革に伴う新たなビジネスチャンスの獲得 ✓ 新たなスタイルやシステムに関連するビジネス展開の支援 ✓ 新たなスタイルやシステムを地方創生につなげる支援		

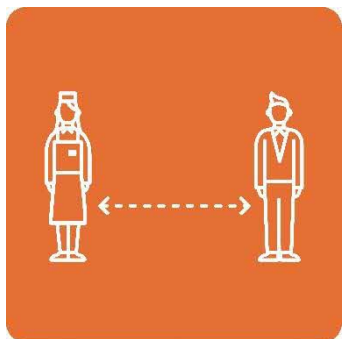
「7つのポイント」 (海外発信)



Ensure that all staff wear masks and frequently wash their hands



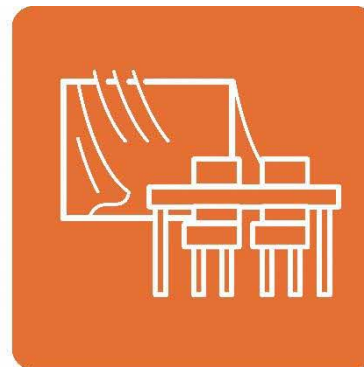
Monitor the health condition of the staff



Ensure that all staff keep a safe distance



Call upon customers to follow proper cough etiquette and wash their hands



設施內定期換氣通風



設備、器具等定期消毒、清洗



向顧客積極宣傳店內的舉措



新北海道模式

現状・課題 当面、新型コロナウイルスがゼロになることはなく、また、長期間にわたる休業要請等を継続していくことは限界。

フェーズ1 感染爆発の脅威が去るまでの当面の間、道民や事業者は知恵を出し合って行動スタイルを変革し、感染リスクを可能な限り低減させて、社会経済活動を継続していくことが必要。

フェーズ2 フェーズ1の実効性を高めるため、「新北海道スタイル」実践企業の利活用促進により道内需要を受け止めるとともに、コロナに強い安心・安全な北海道を積極的に発信し、ウィズコロナで北海道が選ばれる環境を整備。

フェーズ3 アフターコロナを見据え、今後も続いていく新しい行動スタイルや社会システムをビジネスや地方創生のチャンスと捉え、フェーズ1、2の取組と並行して早期から検討に着手することで本道の新たな成長産業化を目指す。

フェーズ	現在・直近	短期	中期
フェーズ1	道民と事業者の連携による感染拡大防止と社会経済活動の両立 ✓ 道民や事業者の行動変容を促す支援 ✓ オール北海道で推進する体制の構築 ✓ 道庁自らが行動変容を実践		
フェーズ2	道内需要の受け止めと「新北海道スタイル」ブランドの道外・海外への発信 ✓ 道民による実践企業等の利活用促進（道内需要の受け止め） ✓ 道外・海外に向けて、安心・安全な北海道ブランドを積極的に発信		
フェーズ3	生活・ビジネススタイルや社会システムの変革に伴う新たなビジネスチャンスの獲得 ✓ 新たなスタイルやシステムに関連するビジネス展開の支援 ✓ 新たなスタイルやシステムを地方創生につなげる支援		